

# 平成25年度 事業計画書

平成24年度事業は①各カテゴリーにおける日本代表の強化と②財務体質の改善を骨子にスタートいたしました。15人制日本代表につきましては、若手(ジュニアジャパン)の育成を含め、秋の欧州遠征におけるテストマッチで2勝するなどたるべき成果を挙げてまいりました。セブンズにつきましても、男子はアジアセブンズで優勝、アジアでのトップクラスの地位を確保しており、女子においても従来勝てなかった香港、カザフスタンを抜き、現在アジアでは中国に次ぐ第2位まで成長しており、男女とも(2013年6月のモスクワワールドカップに出場)これからは世界に挑戦できるレベルまで来ております。しかしながら、財務状況につきましては観客数の伸び悩み、並びに不況によるスポンサーマネーの低減もあり、収入が伸びず前記代表の強化を支えるためには一層の収入増を図ることはもちろん、緊縮財政を継続せざるを得ない状況です。ご承知の通り、昨年5月には2019ワールドカップ組織委員会が法人化されました。今後、日本協会としては組織委員会と一体となった取り組みが必要であり、財務面での組織委員会へのさらなる支援が必要となります。

平成25年度は、2019RWC日本開催を見据えて、15人制代表の2015年イングランド大会での好成績(目標ベスト10入り)は必須であり、そのための強化試合は例年のアジアファイブネーション、パシフィックネーションズ(今年からアメリカ、カナダも参加)のほか、6月のウェールズ戦2試合に続き、秋の欧州遠征ではスコットランドとのテストマッチを計画しております。また、2016年リオデジャネイロ・オリンピックに出場する為、男女セブンズを引き続き強化して行きます。

本年度も上記の活動を支える為、なお一層の財務体質の改善が必要であり、下記を重点課題としてまいります。

- ① 営業収入の増強
  - ・観客プロモーション, チケットینگ部門強化
  - ・マーケティング部門の強化(スポンサー)
  - ・トップリーグの採算向上
- ② 緊縮財政の継続
  - ・諸経費の費用対効果の徹底

## 各委員会関係

### 1. 管理委員会

#### (1) 法務部門

- ① 業務委託、スポンサー契約等の典型例の難形化
- ② 協会の判断・決定に関する紛争の法廷闘争化防止のためのスポーツ仲裁機構の有効活用を検討する。
- ③ その他必要事項を実施する。

#### (2) 財務部門

財務面から協会運営における課題の検討と助言を行う。

- ① 2019WC開催に向けた財務戦略の実行
  - ・収益/コスト構造の把握と改善課題の抽出
  - ・収益/パフォーマンスを基準とした予算管理
- ② H25 年度予算の執行状況のモニタリング
- ③ H26 年度計画に向けた枠組・課題検討
- ④ 各委員会の事業への助言、支援
- ⑤ 監査委員会との連携、協力

#### (3) 環境部門

##### ① 事業活動

- ・日本協会『環境保全活動推進宣言』に基づいた推進活動の展開
- ・地球温暖化防止のための国民運動『チャレンジ 25 キャンペーン』（環境省主管）加盟メンバーとして環境保全活動及び省エネルギー啓発の推進継続
- ・各委員会との連携・協力体制により環境PR活動の推進を図る
- ・日本代表チーム、トップリーグとのコラボレーションによる相乗効果を図る
- ・JOC、日本スポーツ振興センター、環境省等との連携
- ・JOC、環境省主催の環境会議・セミナーへの積極的参加と他団体の取り組み事例の研究継続
- ・2016年リオデジャネイロオリンピック、2019日本WC杯に向けての環境PRの発信

##### ② 具体的実施計画

###### (1) 広報活動（環境啓発PR）

- ・ 広報委員会との連携によりHP、機関紙、プログラム、メンバー表等の活用  
公式試合開催時における観客・ファンへの環境啓発活動の推進
- ・ 環境横断幕（08年作成済）掲示、ポスター掲出活用、試合時大型モニター・MCの活用、環境省とのタイアップによる「チャレンジ25」PRブース出展等
- ・ 「FOR ALL, FOR EARTH.」の日本協会タイラン活用
- ・ 「チャレンジ25キャンペーン」の露出PR

###### (2) 秩父宮ラグビー場での「エコキャップ運動」の継続とキャップ回収実績、資源再利用による提供ワケチン数、CO2削減数値のHP上での定期的報告

###### (3) 協会役員・選手・関係者・ファンへの「チャレンジ25」参加への呼び掛け

###### (4) 省エネルギー、エコ商品利用、試合観戦時の公共交通機関利用の推奨

###### (5) 使用済みラグビー用品（ボール、スパイク、ジャージ等）のエコ利用例の研究調査

###### (6) すべての実践活動を広報PRに連動させ、更なる環境啓発に向けた相乗効果を図る

###### (7) ISO取得に向けた研究と検討

### 2. 国際委員会

◎重点目標

<JRFU 戦略計画に基づく国際戦略の遂行>

1. 国際戦略の策定と実行
2. RWC2019 へ向けた国際大会運営力と海外チーム受入れノウハウの蓄積と向上
3. 日本の国際的ステータス向上の為の活動
4. アジアでのリーダーシップを取るための(アジアスクラムクラムプロジェクトと中心とした)各種活動の展開
5. 海外からの情報収集/発信の強化/積極的なコミュニケーション/ネットワーク作り
6. RWC2019 組織委員会との連携

<セブンズオリンピック採用に伴う対応>

1. JOC とのコミュニケーション及びネットワークづくり
2. 他競技国際担当者との情報交換・交流等  
ロンドンオリンピックをはじめとしたオリンピック関連情報収集及び分析

<一般項目>

1. IRB関連
  - ① IRB 理事会・EXCO、その他各種国際会議等に対する周到な準備とフォロー
  - ② IRB 議事録の管理・活用/IRB 通達およびリリース翻訳の各部署への提供
  - ③ IRB の各種規定の管理
  - ④ IRB および IRB 理事国との諸連絡の強化
2. アジア理事会関連
  - ① アジアラグビー協会理事会・EXCO、その他各種国際会議等に対する周到な準備とフォロー
  - ② アジアスクラムプロジェクトの体制整備と積極的な取り組みと対外的アピール
  - ③ アジアラグビー協会の議事録の管理・活用
  - ④ アジア協会および理事国との諸連絡の徹底。
3. 国際試合関連業務の強化
  - ① 関係各所と連携し、戦略的に国際試合を計画し実施する。
  - ② 計画的に国際試合および海外チーム受け入れ計画を作成し実施し、コスト管理と効率化を図る
  - ③ リエゾンオフィサー育成およびリスト化による効率的運営方法の検討
4. 国際関連一般
  - ① 国際関連業務全般へのサポート
  - ② 海外 VIP 来日時の実確な対応
  - ③ クリアランスおよび海外遠征許可関連業務の徹底

**3. 広報委員会**

<b>事業方針</b> 日本ラグビーフットボール協会の理念、ビジョン、ミッションの具現化を基本に、あらゆるステークホルダーとのコミュニケーションに努め、社会から好意・好感を得るための広報施策を積極的に展開し、あらたなラグビーファミリー増大につなげる。さらに、中長期的に日本ラグビーのブランディング活動を継続実施する。			
<b>活動の目標</b> (1) マスコミとの良好な関係作り (2) ラグビーファミリーの増大に資する報道対策 (3) 日本ラグビーのブランディングへの取り組み (4) インナー広報体制の確立 (5) 2019W C日本開催を見据え、組織委員会との広報プロモーション活動の連携			
施策(大項目)	施策 具体項目	施策の達成に向けた取組み	具体的取組み
協会運営・企画広報 【広報委員会+協会・広報部】	マスコミとのリレーション	① ラグビー担当記者の組織化と継続的、良好な関係作り	新聞メディアを中心とした、再組織化を図る 若手記者との勉強会の企画 ・マスコミ懇談会
		② 運動部長クラスとの交流…マスコミ懇談会の開催	協会幹部による定期的な訪問、意見交換・懇談 主要ゲームの観戦招待 会長主催による懇談会/年1回
		③ トップ広報…報道機関への挨拶回り	・シーズン開始にあわせ、協会幹部による訪問 8月 ・シーズン終了 " 4月
	日本ラグビーのブランディング	① ブランド・ポジションの把握	・日本ラグビーのポジションに関する定点観測調査⇒2013年度は見送り、2014年度実施に向けた検討(初回は2012.1～3月実施)
		② ブランド価値向上に向けたアクション・プランの策定	調査結果をベースとした、ブランド向上アクションプランと数値目標の設定
		③ ラグビー価値の再認識に向けた発信	・ラグビー価値の再認識に向けた発信DVD制作の検討) ・ラグビー応援著名人の囲い込み・組織化と対外発信
	広報戦略の企画・立案	中・長期的なメディアプランの企画・立案	近1～2年でのメディアプラン ・2019に向けた長期的メディアプラン
	各部門への広報支援	① 理事会	理事会後の専務理事による効果的な報道機関への情報提供
		② マーケット、事業・プロモーションとの連携	
		③ 日本代表事業	
		④ トップリーグ事業	各部門との密な連携により、効果的なパブリシティへつなげる
		⑤ 競技力向上部門	
		⑥ その他	
施策(大項目)	施策 具体項目	施策の達成に向けた取組み	具体的取組み
協会運営・企画広報	危機管理広報	① 危機管理広報対応	的確な対応
		② 各層代表へのリスクマネジメント広報講習	特に、高校～U20、女子(ともに15人制、7人制)への広報レクとリスクマネジメント講習を行う
		③ 協会全体へのリスクマネジメント広報ガイドラインの検討・作成	策定を検討
情報管理	ホームページ	Webサイトの管理・運営及び情報基盤の整備  魅力あるWebサイトの作成	・コストパフォーマンスを意識した内製化による運営 ・日本協会としてあるべき情報発信に向けた体制整備(コンテンツ内容含む) ・上記に関し、3地域協会、都道府県協会HPとの連携・指導
	機関誌	読まれる機関誌の作成	・Web(HP)と紙媒体(機関誌)による情報のすみ分け&バランスを図る ・取材力強化により、きめ細かい地域の話題を掲載 ・地域の話題掲載による購読部数増 ・広告スポンサーの獲得
内部広報	インナー広報体制の確立	メール機能による3地域・都道府県協会への情報発信体制の確立	体制確立とあわせて、発信する情報内容(コンテンツ)の作成
	競技運営時広報	競技時広報の運営	地域協会等との連携による的確な対応
協会・広報部との連携・支援		上記に関し、協会・広報部を支援、連携する	
日常広報業務 【協会・広報部】	情報収集		・「広報部」により、指示・命令・決済機能を格段に迅速化する
	メディアとの良好なコミュニケーション作り		・ " 組織的でスピーディーな広報業務を遂行する
	メディア関係先(記事量・スペースなど)拡大		・ " 将来に向けた「広報ノウハウ」を備蓄する
	取材(会見)対応		・ " マネジメントを重視した運営を行う(業務・予算執行など)
	ニュース・ソースの発掘		
	ニュース・リリースの作成・配信		・「広報委員会」との役割を明確化し、十分に連携する
	関係先との調整		・「広報委員会」と十分に連携し、常に情報を共有化する
	ホームページによる情報発信		必要な事項は「広報委員会」に諮問し、決意を受ける(理事会上程事業など)
	機関誌編集		必要な事項は「広報委員会」に諮問し、助言を受ける
競技時広報の運営支援・指導(地方)			

#### 4. マーケティング委員会

##### 1：マーケティング収入拡大に向けての施策

引き続きの厳しい経済環境下ではあるがマーケティング収入(放送権、スポンサーシップその他)の拡大に向け短期・中長期視点で取り組んでいく

##### (1) 放送権

放送機会の実現を常に意識しラグビーコンテンツの価値向上を目指す

今期はリポビタンD チャレンジをはじめPNC、A5Nの日本代表戦の放送実現を目指す

放送界の環境変化をウォッチ、新しい可能性を探る

単発の試合の放送ではなく、放送局と2015年ワールドカップ、2016年オリンピックに繋がるパートナーシップ関係の構築を目指す

##### (2) 横断幕スポンサー

新規トップリーグスポンサー開拓

トップリーグの試合方式変更に伴う協賛金額の見直し交渉の実施

##### (3) 日本代表スポンサー

オフィシャルスポンサーに続くオフィシャルサプライヤーの獲得

IRB 広告レギュレーション変更に伴う更新作業の取り組み

##### (4) その他

協会の課題解決に繋がる協賛企画の開発とプロモート

ITを活用した新規収入源の開発

##### 2：マーケティング推進のための体制の強化

マーケティング委員会の強化・充実によるセールスパワーのアップ

代理店との連携強化によるセールス活動の拡充

既存協賛社とのリレーションの強化によるパートナーシップ作り

#### 5. 事業委員会

トップリーグを含む全ての日本協会主催試合及び大会の事業企画、運営を遂行し集客・収益の拡大を目指す。

##### 1. 目標値

##### ① 集客目標 674,000人

	25年度目標	24年度実績	23年度実績
国際試合	61,000人	41,458人	28,845人
トップリーグ	420,000人	362,067人	338,543人
大学選手権	100,000人	82,218人	71,327人
日本選手権	50,000人	40,901人	29,723人
セブンズ大会	33,000人	※51,841人	1,371人
合計	674,000人	578,485人	469,809人

※東京セブンズ30,000人を見込む

##### ② 収益目標 296百万円

##### ③ 国際試合 4～5月 A5N 2試合 福岡、東京

5～6月 PNC大会 3日間 横浜、名古屋、東京

日本戦3試合、その他2試合

リポDチャレンジ 2試合 大阪、東京

A5N、PNCについては地方会場に注力、収支ゼロと読み、リポDチャレンジ(VS ウェールズ戦)に最大限の精力を集中し、成功をめざす。

##### ④ 大学選手権・日本選手権について

大学選手権・日本選手権の集客・収益向上のための諸施策を実施する。

大学選手権大会新方式2年目として、更なる価値向上を図る

##### ⑤ セブンズ大会

H26年3月セブンズワールドシリーズ東京大会の開催

5月 セブンズ・フェスティバル

⑥ トップリーグ 別掲（トップリーグ部門）

2. 前条1の数値目標を達成するためのチケット・プロモーション活動を企画・推進し、2019年に繋がる中長期の集客拡大策を展開する。

新設のチケット・プロモーション部門を最大限機能させる

3. メンバーズ会員の増大を進めるとともに、新規ファン獲得施策により収益増を目指す。

新たなメンバーズ組織（モバイルコンテンツ）を導入し、更なるメンバー増を図る

4. 全事業内容の見直しを行い、経費削減を行う。

**【1】 企画・競技運営部門**

- (1) 日本協会主催試合での企画・競技運営を実行し、選手及び観客が満足する試合環境を実現する。
- (2) 効率的な試合運営を行い試合経費の削減を図る。

**【2】 国体部門**

- (1) 第68回国体開催に関する打合せを実施する。
  - ① 東京都実行委員会
  - ② 武蔵野市実行委員会
  - ③ 江戸川区実行委員会
  - ④ 関東ラグビーフットボール協会
  - ⑤ 東京都ラグビーフットボール協会
- (2) 平成26年度以降の開催予定県との打ち合わせを行う。
  - ・長崎県(26年)・和歌山県(27年)・岩手県(28年)
- (3) 平成31年第74回国体予定地(福井県)の競技会場視察を実施する。
- (4) 国体部門会議の開催
  - ・7人制女子の部導入に伴う諸問題や、その他の事項を検討する。
- (5) 第68回国民体育大会について  
大会期間:9月29日(日)～10月3日(木)
  - ① 組み合わせ抽選会 9月7日(土)午後1時～
    - ・日本ラグビーフットボール協会 会議室
  - ② 代表者会議 9月28日(土)午後4時
    - ・(成年)武蔵野市役所会議室
    - ・(少年)江戸川区区民センター会議室
  - ③ 表彰式
    - ・(成年)武蔵野競技場 9月30日(月) 午後3時
    - ・(少年・総合)江戸川区陸上競技場 10月3日(木) 正午
- (6) 開催地との意見交換会
  - ・10月2日(水) 18:00～ 場所未定
- (7) 第68回東京都開催に於ける強化コーチの育成事業を行う。

**【3】 社会人部門**

1. トップリーグを除く社会人ラグビーを発展させるための諸施策を実施(三地域協会との連携)
2. 第54回 YCAC 7人制大会への協力  
[4月7日(日)開催: 横浜 YCAC]  
出場チーム 計16チーム(大学、社会人、クラブ)
3. 主要試合等に社会人チームへ観客動員の協力依頼をする
4. 第68回 国民体育大会(東京都開催)への協力・参加
5. その他必要事項を実施する

**【4】 大学部門**

1. 大学選手権大会方式を改編する
2. 試合日程等(地域協会含め)を検討する
3. 交流試合を実施し、強化につなげる
4. 大学チームへ観客動員策を実施する

## 5. その他必要事項を実施する

### 【5】. クラブ部門

#### 1. 普及活動

高校生・大学生の卒業後のラグビーの受け皿としての役割を果たすべく活動を行う。

##### ① 高校生、大学生への認知度のアップ

- ・高校生との合同練習・指導  
一部のチームでは、実施しているが、さらに拡大をはかる。
- ・各県クラブ委員会と連携し、「拠点クラブチーム」を作を作り、拠点クラブを中心に高校、大学生の受け皿を作り、普及をはかる。

##### ② 地域に根差したクラブチームの育成

- ・市町村協会の中核として、普及・指導の役割を果たす。  
また、市町村協会が存在しない地域には、クラブチームが中心となって設立する。
- ・チーム名に「地域の名前を冠する」とともに、「行政」との連携を深める。ラグビーの普及を通して地域活性化をはかる。

##### ③ クラブ大会を通しての普及

- ・「全国大会」の参加枠を広げ、全国各地域から参加できる大会とし、普及につなげる。
- ・県大会等の大会は、合同チーム、補強選手制度等を取り入れ、1人でも多くの選手が参加できる大会とする。

#### 2. 「安全なラグビーの実現」

- ・安全教育の徹底
- ・無理のない大会づくり
- ・マウスガード、ヘッドギヤーの装着率の向上

#### 3. クラブ大会の開催

##### ①第21回全国クラブ大会 会場:熊谷、秩父宮他

##### ②学生クラブ東西交流フェスティバル IN 菅平2013

- ・菅平合宿の時期をとらえ、学生ラグビーの振興と普及を目的とした大会とする。
- ・学生実行委員会を組織し、学生自身が主体的に関わり大会運営を行う。
- ・単なる競技会ではなく、学生向けのレフリース講習会、安全対策講習会、スキルアップ研修会などを組み込んで学生クラブの資質の向上を図る。

##### ③第12回東西学生クラブ交流試合

- ・関東-関西の学生クラブの代表チームによる大会を実施し、大学クラブの普及・強化をはかる。

##### ④第10回クラブユース交流試合

### 【6】. トップリーグ部門

トップリーグ中長期事業計画に基づいた活動の展開。

#### 16 チームによる新方式の実施

##### 1. 2013年度 集客目標 42万人以上

##### 2. 2013年度 FOR ALL活動

- ・FOR ALL活動の拡大・充実
- ・ファン・日本協会関係者、地域協会関係者、加盟企業、選手に至る幅広い展開
- ・活動の継続とさらなる発展を狙う。

##### 3. トップリーグ事業部門の充実

- ・広報・普及活動並びに試合運営の精度をさらに向上させる。

##### 4. 社会貢献活動への取り組み

- ・チャリティーマッチの開催
- ・TRY FOR GREEN活動展開
- ・チャレンジ25への参加

##### 5. 地域協会、開催地協会との連携強化

- ・開催会場に対し、試合運営に関わる諸課題を共有化し、観客や選手に喜ばれる環境の整備
- ・広報、普及、集客等、試合運営精度の向上

##### 6. 会場開催地の決定

- ・集客率の高い会場の設定(魅力あるカーディングの設定)
- ・経費効率を考慮した会場決定

##### 7. 加盟企業との連携

- ・各種会議の開催

- ・各種普及活動並びにイベント等の協働作業
- 8. 広報分野の強化
  - ・TV等への浸透策の検討と実施
  - ・新聞、雑誌等への露出拡大策の検討と実施
- 9. 普及分野の強化
  - ・集客を念頭に入れた普及活動の展開
  - ・地方会場での集客活動の強化
  - ・FOR ALL活動の強化
  - ・ラグビーの普及
- 10. 日本代表活動への協力
  - ・加盟企業による代表活動協力体制の強化

### 【7】チケット・プロモーション部門

- ・新部署としての機能を発揮し、すべての大会のチケット収入目標の達成を図る
- ・新たなチケットプロモーション活動の構築と実施
- ・開催地、各チーム、大学、企業との売するためのパイプづくり

## 6. 代表委員会

### <15人制日本代表>

#### 目標

- ① A5N 全勝
- ② PNC 全勝
- ③ ウェールズ戦勝利
- ④ 欧州遠征勝ち越し

#### 強化ポイント

- ① ストレングス(S&C 能力)の向上
  - ② セットプレー(スクラム/ラインアウト)の安定
  - ③ アタックの精度向上
- ※合宿・試合日程は 3P に記載

### <Jr.JAPAN 関係>

#### 目標

- ① PRC 勝ち越し
- ② 世界トップレベルの経験を通し  
JAPAN へ選手を多く輩出する

#### 強化ポイント

- ① フィジカル(S&C 能力)の向上
- ② アタック(Japan Way)の習得

#### 1. Jr.JAPAN 強化合宿

毎月2～3回(8月・12月除く)のデイ・トレーニング  
 高校・大学生向けキャンプ  
 7月2日(火)～7日(日) 東京  
 トップリーガー向けキャンプ  
 7月15日(月)～19日(金)

#### 2. IRB パシフィック・ラグビーカップ 2013

4月2日(火) 対 ハイランダーズ XV  
 4月7日(日) 対 ハリケーンズ XV

### <U20 日本代表関係>

#### 目標

- ① IRB ジュニアワールドトロフィー優勝

#### 強化ポイント

- ① フィジカル(S&C 能力)の向上

- ② ゲーム理解の向上
  - ③ アタック能力の向上
- ※合宿・試合日程は 3P に記載

<7 人制日本代表(男子)>

目標

- ① W 杯ベスト8
- ② SWS コアメンバー入り

強化ポイント

- ① フィジカル(S&C 能力)の向上
- ② アタック能力の向上

※試合日程は 3P に記載

<女子日本代表関係>

1.女子 15 人制日本代表

目標

- ① W 杯アジア予選突破

強化ポイント

- ① フィジカル(S&C 能力)の向上
- ② スクラムの安定
- ③ ゲーム理解の向上
- ④アタック能力の改善

※合宿・試合日程は 2P に記載

2.女子日本代表 7 人制

目標

- ① W 杯ベスト8
- ② WSWS コアメンバー入り

強化ポイント

- ① ストレングスの向上
- ② アタック能力の向上
- ③ コンディショニング能力の向上

※試合日程は 3P に記載

<U18 男女 7 人制代表>

目標

- ① ユースオリンピックベスト8
- ② 世界レベルの経験

強化ポイント

- ① フィジカル(S&C 能力の向上)

※合宿・試合日程は 2～3P に記載

## 7. 普及・競技力向上委員会

### 1. 競技力向上部門

<活動方針と目的>

男子15人制 2015 年W杯 2 勝以上、2019 年W杯において日本代表チームのベスト8 進出、男女7人制日本代表が 2016 年オリンピックにてメダルを獲得するためのグランドデザイン・キャリアパス設計と将来日本代表を担えるプレーヤー発掘・育成のための以下の事業を展開する。

- ① 男子15 人制強化スキーム構築及び年代別強化
- ② 男女ユースセブンズアカデミー活動とパートナークラブを強化のコアに据え、中学生世代からセブンズの接点を増やし、計画的に将来のセブンズ日本代表を担うプレーヤーを育成していく
- ③ パートナークラブの活動推進

<具体的な取り組み>

- ① 男女ユースセブンズアカデミー(男子:4 回/女子 6 回)の実施

- ② 選手海外派遣(女子ユースセブンズアカデミー生対象)
- ③ 男子ユースアカデミー・中学生トライアウトの実施
- ④ U16、17 ブロック合宿
- ⑤ U17 合同大会/合宿、高校三地域大会実施
- ⑥ レフリー海外派遣

#### パートナークラブ

##### <方向性>

- ・現パートナークラブの目的の明確化(セブンズアカデミー連携型「地域セブンズアカデミー」、セブンズ普及型「フラッグシップパートナー」)
- ・新規パートナークラブの公募

##### <活動案>

- ・セブンズプレーヤー発掘活動(既存ラグビー選手トライアル、種目転向タレント発掘)
- ・大会の企画実施
- ・セブンズトレーニング頻度・質の向上
- ・地域における選手向け、指導者向けセブンズクリニックの企画実施

#### タレントID

##### <方向性>

- ・一貫性あるセレクションポリシーの浸透の強化
- ・種目転向タレント発掘の強化

##### <活動案>

- ・カテゴリーコーチの集合研修
- ・シニア代表選手の各カテゴリー経験者の割合の調査および情報提供
- ・種目転向タレント発掘活動
- ・文部科学省・日本スポーツ振興センターとの連携
- ・地域タレント発掘育成事業との連携
- ・各委員会連携(中学生、高校、女子)

## 2. コーチ／一貫指導部門

### <活動方針と目的>

目的:2019W杯に向けた指導者の養成

目標 : 1. 日本代表監督になりうる指導者を育成する。  
2. 公認指導者数を 1.1 万人にする。

基本理念 : 自ら考え成長し続けるコーチの養成

### **【重点課題】**

- ・資格認定事業(指導者養成)
- ・CPD事業(研修会開催)
- ・エデュケーター養成・研修事業(講師養成)
  - ① コーチネットの運用と情報提供
  - ② リソース、ユースコーチによる高校9ブロックへの一貫指導
  - ③ リソース、ユースコーチによるコーチ資格保有者へのブラッシュアップ研修の実施
  - ④ リソースコーチによるアジアンスクラムプロジェクトでの指導、指導者研修の実施

### <具体的な取り組み>

#### (1) 指導者育成

- ① 強化コーチ・育成コーチ・新スタートコーチ養成講習会の開催
- ② IRBトレーナー・エデュケーター養成講習会の開催
- ③ 各種講習会へのコーチ派遣
- ④ 女子委員会 指導者養成支援
- ⑤ リソース、ユースコーチ研修会(養成研修会)の開催

#### (2) 研修会開催

- ① トップチームコーチ会議
- ② トップチームコーチ資格取得研修会
- ③ ブラッシュアップ(義務化に伴う再研修)研修会

- ④ 三地域都道府県委員長会議
- ⑤ IRBトレーナー研修会
- (3) コーチング研究
  - ① IRB コーチ養成に関する会議への参加
  - ② 指導教材の開発
  - ③ リソースコーチ研究会による一貫指導コンテンツ更新
- (4) コーチング出版関連
  - ① 講習会用マニュアルの作成
- (5) コーチ資格義務化に伴う事業
  - ① 有資格者登録管理システムの管理
  - ② コーチネット サービス
- (6) 「スポーツ指導における暴力緘黙へ向けて」の周知徹底について
  - ① 指導者養成プログラムへの反映
  - ② コーチネットを通じた有資格者への周知徹底
  - ③ 三地域コーチ部門との連携による周知徹底

### 3. 科学／国際技術／情報・AIR 部門

#### <活動方針と目的>

- ① 男女 15 人制ラグビー戦術・技術展開に資する日本独自のエビデンス情報を構築する:2012 国際試合・トップリーグ・大学・高校・女子分析、強豪ユニオン分析からの情報科学部門独自の視点を深耕する。
- ② ラグビー科学研究 25 巻を発刊する。
- ③ 『技術分析』および『社会的機能分析』に関連する国際学会活動への支援
- ④ 文科省、JOC、JISS との連携強化により7人制を中心とした強化および普及に必要な実践研究を行なう。
- ⑤ 高校・中学・小学生部門との連携
- ⑥ グランド・芝環境研究

#### <具体的な取り組み>

- ② 2015・2019(15 人制)、2015(7 人制) 技術・戦術展望
- ③ 異競技、異組織との連携構築
- ④ 情報支援:情報科学・組織経営情報ニュース
- ⑤ (AIR)連携組織との実践関係構築:JISS,JOC 等
- ⑥ (AIR)アジア各ユニオンへの情報提供
- ⑦ (AIR)IRB 向けのアニュアルレポート
- ⑧ (AIR)AIR の自律組織化

### 4. 普及育成部門

小学校体育へ進出、中学生競技人口増加、戦略室事業との連携を軸に都道府県協会の普及活動との連携を高め、日本ラグビー発展の基盤強化に取り組む。

#### RDO事業

三協会へ配置されたRDO・役割等をホームページ等で全国的周知し、試験的实施に取り組む

### 5. 小学生部門

#### <活動方針と目的>

ラグビースクールのプロモーション力の強化、一貫指導体制にともなうミニラグビーの目指すプレースタイルとそのための指導法の構築、またラグビースクールに所属する小学生や彼らを取り巻く周辺層の人たちがラグビーと楽しくかかわれる「場」の創出を目指すことで、ラグビーファミリーの増大を図る。

- ① ラグビースクールプロモーション講習会の各ブロック開催 (ラグビースクールのマネージャー対象)
- ② 一貫指導体制にともなうミニラグビーのプレースタイルの確立
- ③ ミニラグビー指導書の作成と活用事業
- ④ 各カテゴリーの「場」の創出 (ブロック大会の充実)
- ⑤ 小学生が積極的にラグビー観戦したくなるような施策を講じる

## 6. 中学生部門

### <活動方針と目的>

#### 1. 都道府県U15 ジュニアトレセンの設置

中学生部門の中核として、全国の中学生に公平なラグビー競技活動の場を提供することを目的に、各支部協会に同計画の活動を提案、同活動を支援、コーチネットを活用し、同ネット内にジュニアトレセンコーナーを設置し、中学生指導に関する情報を共有

#### 2. 指導者の知識と指導力向上

指導者育成の為にリニューアルしたジュニアラグビー指導の手引のDVD化と指導者講習会の整備と強化

#### 3. =競技人口増加=中学生ラグビー発展のための、大会の整備と拡大

① 太陽生命カップ2013 第4回全国中学生大会の予選を含めた大会整備と拡大

② 第19回全国ジュニアラグビーフットボール大会の改革

(1) 地域予選の整備と予選形式の統一化を検討

(2) 都道府県U15 ジュニアトレセンと連動させ、大会の実効性を高める

#### 4. =国際交流=U15 日本代表編成と国際人の養成

#### 5. その他事項

① 複数登録制度の基盤整備と厳格履行

② ジュニアラグビー競技規則の継続的な検討（安全性の担保向上、特にスクラムの安全性とエージ制の厳格運用推進とこれを前提にした飛び級制度の検討）

③ ラグビースクールにおける女子選手の受け皿 ～男子中学生の中での女子選手の適性年齢～

④ ジュニアラグビーの競技規則とフルラグビー（15人制）～適正な競技形態の継続検討～

⑤ 7人制ラグビー大会の試験的实施と検討

⑥ 文部科学省の中等教育制度改革に対応した中学校部活動と中学生ラグビースクール体制の在り方の検討

## 7. タグラグビー部門

### <具体的な取り組み>

#### 1. エducator養成講習の実施について

全国9ブロック（北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州）ごとに養成する事業を継続する。

特に25年度は、ティーチャー養成研修会未開催府県（岩手県、宮城県、群馬県、山梨県、栃木県、長野県、富山県、三重県、大阪府、兵庫県、鳥取県）への配置を最優先の課題とし、東北、関東、東海、北陸、近畿の各ブロックでのエドゥケーター養成講習を実施する。

#### 2. ティーチャー養成研修会の実施について

全国47都道府県全てにおいて、タグラグビーエドゥケーターによる日本協会タグラグビー部門作成の統一プログラムによる研修会を実施することを目指す。

#### 3. 取り組む項目

① 研修会で使用する指導資料の改訂と増刷（DVDの増刷および文部科学省委託事業によるリーフレットとガイドブックの作製を含む）

② 日本協会サイトの改訂（指導案等のアップの検討および文部科学省委託事業による動画の制作を含む）

③ 教育現場への道具提供（用具メーカーとの協議および文部科学省委託事業による研究校への貸与を含む）

④ タグラグビーの実施率およびラグビー継続に関する調査（文部科学省委託事業との連携を含む）

⑤ サントリーカップの実施（今後のよりよい在り方の検討を含む）

⑥ ローカル大会およびタグフェスタ等のイベント事業の推進（タグラグビー以外の他カテゴリーの指導者、プレーヤー、レフリーとの積極的な交流計画の検討を含む）

## 8. 審判委員会

### 1. レフリー部門

“底辺拡大”と共に、“トップレフリー、女子レフリー及び国際レフリーの育成”を継続して推進する。

- (1) レフリーの認識度を高める。  
レフリーを目指す人が一人でも増えるように積極的なPR活動を推進して行く。
- (2) レフリーの普及・育成  
IRBトレーニングプログラムに基づき、MO(マッチオフィシャル)レベル1, 2コース及びCMO(マッチオフィシャルコーチ)レベル1, 2コースを展開して、レフリーの早期育成を推進する。
- (3) レフリーコーチの育成  
レフリーレベルに合わせたレフリーコーチの指導・育成を強化する。
- (4) 情報の伝達  
マニュアル・研修会教材の整備を図り、競技規則やルーリングに関する情報伝達を早めていく。

- ① パネルレフリー(IRB パネル・A・A1・AR)研修活動
- ② 海外交流(派遣・受け入れ)
- ③ 三地域レフリー指導
- ④ レフリーコーチ・評価研修活動
- ⑤ レフリー評価、割当、ランキング
- ⑥ ルール伝達講習会等

## 2. ルール部門

- ① IRB2013 年度ルール of 迅速な解釈と対応。
- ② ルールの在り様についての議論と IRB への提起を図る。
- ③ リーリング・レフリングのレフリー間、地域差、時間差ギャップ解消を図る。
- ④ 安全性を十分に考慮したルールの啓蒙活動を行う。

## 9. 高校委員会

### 1. 部会の開催

- ① 全国高体連ラグビー専門部全国会議  
4月13日(土)常任委員会 於:東京  
14日(日)専門委員長会  
12月25日(水)常任委員会 於:大阪  
26日(木)専門委員長会
- ② 高校委員会会議  
9月28日(土) 高校部門会議 於:東京

### 2. 全国高体連関係

- 4月 9日(火) 総体検討委員会(東京)
- 4月 19日(金) 総体中央委員会(東京)
- 5月 21日(火) 評議委員会(東京)
- 6月 11日(火) 専門部長・委員長会(東京)
- 9月 10日(火) 総体検討委員会(東京)
- 9月 19日(木) 総体中央委員会(東京)
- 11月 12日(火) 全体会議・専門部長・委員長会(東京)
- 3月 15日(土) 評議委員会(東京)

### 3. 強化指導

- ① 高校日本代表選手の選抜・遠征
- ② U16、U17 ブロックトレセン  
全国9ブロックで開催  
④ 18トライリージョンズ(東・中・西対抗戦)平成25年6月

### 4. 普及指導

- ① 合同チーム交流大会兼第34回普及指導講習会  
平成26年2～3月(北海道は25年4月)全国9ブロックで開催
- ② スキルアップキャンプ2013

## 5. 指導者研修

- ①NZ ラグビー研修 平成25年7月22日(月)～29日(月)
- ②第38回高等学校指導者研修会  
平成26年1月10日(金)～12日(日) 東京・日本青年館  
全国9ブロックから2名の参加、研究発表と講演、大学選手権決勝の観戦

## 6. 高校海外交流

- ①高校日本代表海外遠征 平成26年3月中旬～
- ②第21回日韓中ジュニア交流競技大会 平成25年8月 中国

## 7. 高校ルール検討委員会

安全を最優先にルールの検証を行う。

## 8. 安全対策

重傷事故の撲滅。

## 9. その他

高校部員登録人数を3万人台に回復するように普及活動を推進する。  
2019年ワールドカップに向けたユース強化。  
セブンズ強化。  
高校女子ラグビーの普及と強化。

## 10. 安全対策推進委員会

1. 「重症事故の撲滅」と「安全なラグビーの普及・徹底」を掲げ、安全対策の指導を行う。
2. 発生事故に対する調査・分析・研究を行う。
3. チーム責任者等に『重症事故撲滅対策』の意識付けを行い、特に脳振盪報告書ならびに復帰報告書に関して、提出率を上げるための施策を立案、実施する。
4. 「安全推進講習会」の開催。
  - ① 安全推進講習マニュアル DVD の作成と管理
  - ② 安全推進講習会講師としてのトレーナーの育成
  - ③ 安全推進講習会医務関連講師の育成
5. チーム登録資格要件の追加など、速やかに具体的施策を実施する。
6. 重傷事故分析班の活動を更に推進する。
7. 普及・啓発活動  
外傷・傷害の撲滅を目指し啓発活動の継続的実施。
8. 調査・検討  
IRB 重症報告の基準に従い、重症事故データの継続的集計・分析
9. 研修会開催
  - ① スキルアップ研修会
  - ② 各都道府県安全対策研修会
10. セーフティ・アシスタント管理  
セーフティ・アシスタント制度の円滑な運営を図る。
11. 連携  
競技力向上委員会、審判委員会、中学・高校委員会との連携を一層強化し、外傷・障害の減少を図る。

## 11. メディカル委員会

### 1. メディカル部門

<活動方針と目的>

三地域協会および都道府県医務委員会間の整合性をとりながら広範な医学的支援を行う。

- ① 三地域連絡協議会の開催
- ② 日本協会主催試合医務担当

- ③ 日本代表チームメディカル部門担当(含む海外遠征帯同ドクター派遣)
- ④ トップリーグメディカルコントロール部会担当
- ⑤ マッチドクター(チームドクター含む)の養成
- ⑥ ラグビーフォーラムの開催
- ⑦ AIRへの協力
- ⑧ JOC、体協、JISSとの連携強化および他必要な事業
- ⑨ 女子委員会への医学的支援

<具体的な取り組み>

- ① 委員会・医事担当部門会議・三地域連絡協議会
- ② 医務担当・日本協会主催試合(主管協会と連携)
- ③ 日本代表チームメディカル部門担当(含む海外遠征)
- ④ ラグビードクターフォーラムの開催

## 2. トレーナー部門

<活動方針と目的>

トレーナー部門の役割の明確化と 2016/2019 に向けた傷害予防、パフォーマンス発揮を支援する環境整備、立案、組織横断的協同事業の提案、実施、そして人材の育成。

- ① 人材育成事業(ラグビートレーナー育成)→・トレーナーセミナー/研修会開催及び地域開催(関西、九州圏)の準備・上級トレーナー養成プログラム実施準備
- ② コーチ部門、ハイパフォーマンス 安全対策委員会との連携
- ③ 代表事業部 TLとの積極的連携
- ④ 女子ラグビーへのトレーナー的支援
- ⑤ 教育・啓発関連資料、出版物の作成、発信それに伴う情報収集。

<具体的な取り組み>

- ① トレーナーセミナー/研修会の地域開催(関西(大阪)、九州圏)の実施
- ② 上級トレーナーを養成プログラム実施
- ③ ホームページおよび関連機関誌を通じて医・科学情報を発信する。
- ④ 日本代表チームのトレーナー環境の整備・支援する。
- ⑤ 教育・啓発関連資料を作成する。

## 12. 女子委員会

女子ラグビーの普及・発展・育成のための基盤となる環境整備

- (1) 選手活動のための拠点づくり (クラブチーム等)
- (3) 競技者育成プログラム、一貫指導システムに基づく選手の育成
- (4) 重症事故防止のための啓蒙活動
- (5) 他委員会との連携強化 (積極的協会活動参加のため)

<大会等>

- ① 第3回全国高等学校女子7人制ラグビー大会
- ② 第4回全国中学校大会
- ③ 第26回女子ラグビー交流大会
- ④ 第93回高等学校ラグビーフットボール大会エキジビション
- ⑤ 第15回ジャパンセブンズ大会
- ⑥ 15人制三地域対抗戦

期日 12～1月

概要 三地域の代表選手が試合を行う

## 12. アンチ・ドーピング委員会

<具体的な取り組み>

### 1. ドーピング検査

- ① JADA および IRB の国内の競技会検査(トップリーグ、3地域大学定期リーグ戦、全国大学選手権大会、日本選手権大会、国内開催国際大会)に協力して実施する。検査料は toto 助成により実施する。検査の調整監視役としての NF-R の派遣を拡充する。
- ② 7人制ラグビーおよび女子ラグビーにおいてドーピング検査実施を導入する。

- ③ J ADAおよびIRBの居場所情報管理の対応についての指導助言を行う。
  - ③ 治療目的使用に係る除外措置申請手続きの助言と指導を行う。
2. ドーピング防止教育啓発活動
- ① JADA のドーピング防止教育啓発活動と連携して実施する。
  - ② 15人制日本代表、7人制日本代表、女子日本代表に対して、チーム Dr と連携しながら、ドーピング防止教育やドーピング防止講習会を実施する。
  - ③ 各日本代表、トップリーグ各チーム、日本選手権出場チーム、全国大学選手権出場校、および大学定期リーグ戦上位校にドーピング防止関係資料を送付し、情報提供する。
  - ④ トップリーグや大学定期リーグ戦参加校に対してドーピング防止講習会を実施する。とくに、大学各チームにおける講習会をJADAと連携して重点的に実施する。
  - ⑤ トップリーグの各チームDrおよびトレーナーにドーピング防止の情報を提供する。
  - ⑤ 全国高校大会および全国高等学校選抜大会において、JADA と連携してドーピング防止啓発活動を実施する。

### 13. 戦略室

JRFU 戦略計画に関して以下の業務を行う。

- ① 戦略計画のレビューと修正・追加
- ② 戦略計画の全国への周知徹底
- ③ 戦略計画のモニタリングとフィードバック
- ④ 各地域の取組事例の収集と全国へのフィードバック
- ⑤ 戦略計画に係る各種調査分析業務
- ⑥ 競技者登録システムを中心としたデータベースシステムの構築と活用
- ⑦ その他、戦略計画の実施に伴う総合的な業務

< 重点項目 >

- ① 都道府県戦略計画の策定推進とサポート
- ② 市町村協会設立推進とサポート
- ③ 各種プロジェクトの立ち上げと推進
  - 1. 競技者人口増加
  - 2. 地域セブンズアカデミー創設
  - 3. 他団体との連携協力
- ④ モデル事業の創設と推進

### 関東ラグビーフットボール協会

#### 1. メディカル委員会

##### 1. 各委員会活動

- 1. 医務委員長会議の開催(9月)
- 2. メディカル委員会総会の開催(9月)
- 3. 日本代表、関東代表、学生代表等の遠征への医務協力
- 4. 日本協会メディカル委員会、メディカル部門への参加
- 5. 国際試合を含む日本協会主催試合の医務協力
- 6. 安全対策委員会、普及育成・競技力向上委員会、審判委員会等と連携し、安全対策の推進に努める

#### 2. レフリー委員会

##### 1. 本年度の目標

- (1) 日本協会と連携しレフリーのスキルアップとレフリーコーチの標準化
- (2) 女子レフリーの発掘と育成
- (3) 関東協会所属レフリーの発掘・育成と支援(海外派遣含む)
- (4) 各支部におけるC級レフリーの発掘及びレフリーの育成と指導及び支援の充実
- (5) 各支部におけるレフリーコーチの育成

##### 2. 会議関係

- (1) 定例会議(毎月1回)
- (2) 委員長会議(12月)

- (3) チームコーチ&レフリー合同会議(春季、秋季)
- (4) アポイント部会(随時)
- (5) レフリーコーチ部会(年2回)
- (6) テクニカル部会(年2回)

### 3. 研修会・講習会関係

- (1) レフリー研修会(春季4月～7月、秋季9月～10月、冬季3月)
- (2) レフリーコーチ研修会(春季5月、夏季7月、秋季9月、冬季3月)
- (3) B級レフリー認定講習会 8月9日(金)～11日(日) 菅平高原
- (4) B級レフリーブラッシュアップ研修会 8月16日(金)～18日(日) 菅平高原
- (5) 関東協会管轄レフリー研修会への講師派遣

### 4. 日本協会主催各種研修会

- (1) トップレフリー研修会(未定・菅平高原)
- (2) 三地域トップレフリー研修会(8月23日(金)～25日(日)・菅平高原)
- (3) 全国高校大会レフリー研修会(12月下旬・花園ラグビー場)
- (4) 全国高校大会・全国中学生選抜大会女子レフリー研修会(12月下旬・花園ラグビー場)
- (5) 全国高校選抜大会レフリー研修会(平成26年3月下旬・熊谷ラグビー場)

### 5. レフリー派遣関係

- (1) 春季オープン戦レフリー派遣(中学、高校、大学、クラブ、社会人等)
- (2) 春季公式戦レフリー派遣(全国高校選抜、YC&ACセブンス、高校・大学セブンス、ジャパンセブンス、大学交流戦、都道府県対抗戦、メディカルセブンス等)
- (3) 関東協会主催公式戦レフリー派遣(中学、高校、大学、クラブ、社会人等)
- (4) NZウェリントン派遣レフリー(6月上旬)  
NZウェリントン受入れレフリー(10月上旬)

## 3. 安全対策委員会

### 1. 活動目標

- ・ 重症事故の予防に関する啓発活動を通じ重症事故撲滅に努める。
- ・ プレーヤーの安全に関わる事項を検討し、その方策を確立する。

### 2. 具体的事業

- ・ 全国安全推進講習 関東協会ブロック伝達講習会の実施(主催 日本協会)
- ・ 各県における安全対策講習会及びチーム登録の円滑な実施を図るとともに、重症事故予防に関する啓発に努める。  
(日本協会安全対策委員会との連携)
- ・ 熱中症予防についての啓発活動の継続
- ・ 菅平高原等夏季合宿地における安全対策啓発活動
- ・ 関東協会における重症事故についての動向調査
- ・ 安全対策関連の通達・申合せ事項の整理及び周知徹底
- ・ 脳震盪のレギュレーション変更の周知徹底とその円滑な運用に努める。
- ・ メディカルサポーターからセイフティーアシスタントへの名称変更と運用面の細部変更の周知徹底。

### 3. 委員会の課題

- ・ 運搬法・救急救命法講習会の実施
- ・ 各県で実施されている安全対策講習会の実施状況、内容の調査
- ・ 他の委員会との連携

## 4. コーチ委員会

### 1. 指導者養成事業

- (1) ブラッシュアップ研修会(強化コーチ・育成コーチ・新スタートコーチ)
- (2) 強化コーチ養成講習会
- (3) 育成コーチ養成講習会
- (4) 新スタートコーチ養成講習会
- (5) コーチトレーナー講習会

### 2. 地域推進事業

- (1) タックルの巡回指導及びインストラクターの講習・育成
- (2) コーチ委員長会議開催(随時開催予定)

### 3. コーチ派遣事業

- ・地域からの要請に随時対応

## 5. 普及育成委員会

### (中学生部門)

#### 1. 大会の主催

- 1) 第 64 回関東中学校ラグビーフットボール大会 =中学校部門=
- 2) 第 7 回東日本 U15 中学生ラグビークラブ大会 =中学生 RS 部門=
- 3) 第 15 回東日本ジュニアラグビー菅平ジャンボリー =中学生 RS・中学校部門合同=
- 4) 第 19 回全国ジュニアラグビーフットボール大会関東地区中学校予選 =中学校部門=
- 5) 第 34 回東北中学生ラグビーフットボール交流大会 中学校・中学生 RS 部門合同=
- 6) 太陽生命カップ・第 4 回全国中学生ラグビー大会・東北北海道地区中学校予選 =中学校部門=
- 7) 第 20 回関東甲信越ジュニアラグビー交流大会 =中学生 RS 部門=
- 8) 第 33 回東日本中学生ラグビーフットボール大会
- 9) 第 11 回東日本 U15 中学生ラグビーフットボール選抜大会 =中学校・中学生 RS 部門合同=

#### 2. 全国大会の主管

- ・太陽生命カップ 2013・第 4 回全国中学生ラグビーフットボール大会の主管

#### 3. 全国大会へのチームの派遣

- ・太陽生命カップ 2013・第 4 回全国中学生ラグビーフットボール大会

#### 4. 指導者講習会

- ・東日本地域ジュニアラグビー指導者講習会=中学校・中学生 RS 部門合同=

### (タグラグビー部門)

サントリーカップ・小学生タグラグビー選手権大会は、小学校へのタグラグビー認知・PR と云う面では、大きな成果を挙げたと確信している。反面、全国の全ての教員(内 70%弱の女性)への認識度に於いては、サントリー全国タグラグビーの競技レベルがタグラグビーであれば、とても教科としては取り入れられないという考えがあることを認識しなければと思量する。競技スポーツ・タグラグビーを否定するわけではないが、多くの子に「楕円球(敢えてラグビー)の楽しさを」といった原点に戻った活動に注力したい。なお、中学校へのタグラグビー普及にも昨年に続き徹底する。

#### 1. 活動

- ・教員へのタグラグビー・レフリング講習会の実施。
- ・小中高に連動した、タグラグビー普及の企画を実施する。
- ・タグラグビーを経験した、6 年生を対象にした、ラグビーの指導を企画しジュニアラグビーへの普及とする。
- ・ラグビースクールでのタグラグビーの活用を推進し、いっそうのタグラグビー普及に努めたい。

#### 2. 大会、講習会

- ・サントリーカップ・全国小学生タグラグビー選手権の参加
- ・東北六県少年ラグビー連絡協議会での、教員対処のレフリング講習会の実施
- ・関東地区タグラグビーチームによる、東北震災被災地の小学生との交流会の実施

### (ミニラグビー部門)

第 92 回全国高校大会の出場選手のデータで、過去最高の数字が出た。ベスト 4、出場選手のうち、キッズラグビー出身者が、99%。決勝戦では、100%。全国大学選手権では、75%のキッズラグビーが占めた。この数字を見る限り、普及活動の重要性は顕著にみられ、我慢強く恒久的に指導者講習会を開催した結果と考える。

ミニラグビー講習会を導入時より開催し続ける関東協会の各地での講習会の質を向上させるため、本年度は、各地のミニラグビー・インストラクターの発掘、育成に注力し、次世代に継承できる基盤年としたい。

#### 1. 活動

- ・将来あるプレーヤーを育成できる、指導者の確保と研鑽の場の提供
- ・ミニラグビー・インストラクター指導者講習会の頻度を年 2 回にする
- ・協会主導の関東 17 道都県ミニラグビー・レフリング講習会の定例化
- ・関東地区ミニラグビー・レフリング登録制度の導入

#### 2. 大会、講習会

- ・北海道ミニ交流大会
- ・東北地区ミニラグビー交流大会
- ・西関東甲信ブロック・ミニラグビー交流大会
- ・日本海ミニラグビー交流大会
- ・東関東地区ミニラグビー交流大会

・北海道地区指導者講習会、東北地区指導者講習会、関東地区指導者講習会

## 6. セレクションコミッティ・強化委員会

〈テーマ〉・底辺の拡充とレベルアップ

- ・一人でも多くの選手をジャパンに
- ・トップリーグ、大学等の、各カテゴリーの視察
- ・2014年度 海外遠征への準備
- ・NZU 戦に向けての選考

### 1. 関東代表

\*国際試合／ニュージーランド学生代表 来日期間 4月24日～5月6日(予定)

### 2. 関東学生代表

### 3. 関東高校選抜

## 7. 社会人委員会

### 1. 各種大会への実施、参加

- (1) 第54回 YCAC セブンズ 4月7日(日):YC&AC
- (2) 第50回東日本都道府県対抗大会開催
- (3) 第68回国民体育大会
- (4) トップリーグ・トップイーストリーグ Div1 Div2・関東社会人リーグ・トップチャレンジリーグ

### 2. 全体会議

- (1) 社会人委員会
- (2) 社会人委員長会議
- (3) 3地域社会人委員長合同連絡会議

### 3. チームとの意見・情報交換会

### 4. 社会人連盟との意見・情報交換会

### 5. 日本協会トップリーグ機関との意見・情報交換会

### 6. レフリー委員会との意見・情報交換会

## 8. クラブ委員会

《本年度の方針》

- ・「楽しく、安全にできる環境」をつくり、普及をはかる。

昨年のクラブ大会の大会要綱、実施規約の大幅な改訂により、より多くの選手、スタッフが大会に参加する環境がつけられ、クラブ大会は、主催協会、主管協会と選手、スタッフ、役員がともに協力しあい作りものであるとの認識が生まれてきた。このような認識をさらに広げラグビーの普及につなげる。

- ・安全対策

大会での安全対策を一層はかるとともに、練習・合宿等においても安全教育を徹底する。

《事業計画の概要》

1. 第51回日本選手権大会へクラブ代表チームを派遣
2. 第21回全国クラブ大会の主管
3. 第10回東日本トップクラブリーグの主催(兼、第21回全国クラブ大会東日本地区予選)
4. 第23回東日本クラブトーナメント大会の主催
5. 第32回ラグビーフェスタ2013 イン・スガダイラの主催
6. 第30回東北クラブ選手権大会の主催
7. 第21回ラグビーフェスタ2013・イン・ハチマンタイの主催
8. 第4回東日本クラブセブンズ2013の主催
9. 東日本マスターズ大会2013の主催
10. サンケイスポーツ杯第20回関東学生クラブ選手権大会の主催
11. 第12回東西学生クラブ対抗試合へ関東代表を派遣
12. 学生クラブ東西交流ラグビーフェスティバル2013・イン・スガダイラの主管
13. 東北クラブ委員長会議の開催
14. 関東クラブ委員長会議の開催
15. 東日本各地で「クラブカンファレンス」を実施

〈共通テーマ〉 多くのチーム・選手の大会への参加の検討／クラブチームの組織化、地域に根ざしたクラブ作り

## 16. 委員会、小委員会の開催

### 9. 女子委員会

1. 関東地区トライアウト
2. 東北・関東ユースセレクション
3. ユース安全対策講習会
4. 第64回関東中学校ラグビーフットボール大会 女子7人制エキシビジョンマッチ
5. 関東大学、対抗戦・リーグ戦、選抜大会 女子エキシビジョンマッチ
6. 第50回東日本都道府県対抗ラグビーフットボール大会 女子エキシビジョンマッチ
7. ユース選手菅平合宿
8. 第68回国民体育大会(東京都開催)女子7人制エキシビジョンマッチ
9. 第24回関東女子ラグビーフットボール大会
10. 第25回東北・北海道交流大会
11. 第7回ガールズラグビーフェスティバル
12. 女子三地域代表対抗戦
13. 第6回関東地区 SEVEN'S IN KUMAGAYA

#### <日本協会、県協会、高体連関連行事>

1. 第2回全国高等学校選抜女子セブンスラグビーフットボール大会
2. 横浜市ガールズ・ラグビーフェスティバル 2013(横浜市協会主催)
3. 千葉県ガールズ・ラグビーフェスティバル 2013(千葉県協会主催)
4. KOBELCO CUP 2013  
第3回全国高等学校女子7人制ラグビーフットボール大会(日本協会主催、関東・高体連主管)
5. 太陽生命カップ 2013 第4回全国中学生ラグビーフットボール大会
6. 花園U18女子セブンスマッチに向けたセレクションマッチ(日本協会主催、高体連主管)
7. 横浜市女子セブンス大会(横浜市協会主催)
8. 第26回女子ラグビー交流大会(日本協会主催・関東協会主管)
9. トップリーグ 女子7人制エキシビジョンマッチ(山梨県協会主催)
10. 第93回全国高等学校ラグビーフットボール大会(日本協会主催・高体連)
- 11.1 横浜市女子セブンス大会(横浜市協会主催)
12. ユース中学生3地域交流戦(関西協会主催)

#### <練習会>

1. 関東地区合同練習会(高校生～一般)
2. 東北・関東ユース練習会(小学5年生～中学3年生)
3. 女子ラグビー講習会・イベント活動

### 10. 大学委員会

1. 第14回東日本大学セブンス実施
2. 第2回関東大学春季大会実施
3. 関東大学オールスターゲーム(対抗戦選抜対リーグ戦選抜)実施
4. 各リーグ公式戦実施
5. 第35回ジュニア選手権実施
6. U20強化対策実施
7. 委員会の開催・監督会議の開催・日本協会大学委員会との連携
  - (1) 大学チームの要望が直接届く体制づくり
  - (2) 大学ラグビー活性化小委員会の継続
  - (3) 大学ラグビーの強化とラグビー普及への活動
8. 諸会議の開催

### 11. 高校委員会

1. 各種大会、予選会実施、全国大会参加
  - (1) ジャパンセブンス 2013 高校の部参加
  - (2) 関東高校代表対九州高校代表戦
  - (3) 地区大会、(北海道、東北、関東、北信越)

- (4) U16・17 ブロックトレセン・講習会
- (5) ブロック国体・第 67 回国民体育大会予選会
- (6) 第 67 回国民体育大会参加
- (7) 第 93 回全国高校大会参加
- (8) 15 回全国高校選抜大会地区予選会
- (9) 関東都県対抗戦
- (10) 第 15 回全国高校選抜大会参加
2. 普及指導講習会の開催ーブロック別少人数制大会
3. 第 38 回高校ラグビー指導者研修会
4. 第 15 回全国高校選抜大会の主管と準備会議の実施
5. 関東高校代表チームの編成と強化遠征試合→ユース代表選考活動
6. 高等専門学校チームとの普及・強化に向けた事業→各種大会への参加、新規大会の企画

## 12. ツアー委員会

1. 海外遠征申請手続
  - ・日本協会へ上申手続等
2. 来日外国チーム許可申請手続
  - ・春季 NZU 来日(4/24—5/5 予定)
  - NZU チーム受け入れ対応(事前協議・帯同リエゾン派遣・期間中対応)
  - 4/27 関東学生代表対 NZU(秩父宮)
  - 5/04 関東代表対 NZU(秩父宮)
3. 国際大会への対応

## 13. 広報委員会

1. 関東協会「協会年鑑 2013—2014 年版」の作成と配布。
2. 関東協会「役員名簿 2012—2013 年版」の作成と配布。
3. 平成 25 年度試合日程メンバー表の作成と一般頒布。
4. 日本協会機関誌<RUGBY FOOTBALL>に関東協会だよりを執筆掲載。
  - \* 支部協会(各都道県協会)の活動報告の充実。
5. 日本協会、関東協会主催・主管ゲームで、各種パンフレット、出版物等の販売。
6. 日本協会広報活動への協力。
7. 関東協会「秩父宮ポスター」「イーストリーグ」ポスターの作成と配布、及び一般頒布。
8. 関東協会ポスターを、JR 東日本首都圏管内各駅への駅貼りの実施。
9. 「トップリーグ」を主に各種・告知活動を展開。
10. 小学生、中学校、教育委員会等への児童生徒の「秩父宮・団体観戦」の案内。
11. ラグビー普及・振興のための広報、広聴活動。
12. 関東協会「ホームページ」の運用。
13. 支部協会「ホームページ」立上げ及び運営の支援。
14. インターネット上での記録入力。
15. 試合当日の「メンバー表」の一般への無料配布。
16. 報道各社への「プレスリリース」の配信。試合後の記者会見実施。
17. 関東協会主催、主管試合の記録の管理。
18. 日本協会主催試合の記録サポート。

## 14. 観客動員委員会

1. 既存ファンの囲い込みと新規ファンの更なる開拓を目指す。
2. 活動対象を「大学ラグビー」だけで無く「トップイースト」にも広げる。
3. 各種企画の、整理統合
  - ポスター、プロモーションビデオ、校歌斉唱、ハーフタイムイベント、SNS 分野、いい男企画
4. 応援企業の継続と新規開拓
  - 現行得意先の継続と、異業種の得意先の開拓。

## 15. 登録者傷害見舞金審査委員会

1. 各都道府県協会より報告された傷害報告、見舞金請求(診断書)に対し毎月審査委員会を実施。
  2. 登録者傷害見舞金制度、関東協会管下分について収支明細及び見舞金支給者名簿を作成し日本協会へ報告。  
\* 日本協会の登録者傷害見舞金委員会(特別委員会)の委員として当委員会より3名が参加。
16. 選手資格審査委員会
1. 選手登録に関して  
日本協会規約およびトップリーグ規約を遵守して審査する。
  2. 選手の移籍に関して  
日本協会規約およびトップリーグ規約を遵守して審査する。
  3. 外国人選手新規登録に関して  
日本協会規約を遵守して審査する。
17. 規律委員会
1. 競技規則、トップリーグ表彰懲罰規程に準拠した不行跡、不規律の処置
  2. シンビンの計数ならびに公開、イエローカード累積3枚時の処置
18. 市区町村協会担当
1. 都内各市区協会の状況把握
  2. 連絡先の整備
  3. 都協会情報の提供、市区協会情報の共有
  4. 各市区協会代表者の意見交換会実施
  5. 日本協会「市町村協会新設補助金」の活用促進
19. 競技委員会
1. 関東協会主催試合の日程調整と決定
    - ・各地・各地域での有料試合の調整と運営実施。
    - ・各セクションの大会運営実施(ミニラグビー・タグラグビー・ジュニアラグビー・高校・大学・地区 対抗・高専・学生クラブ・クラブ・レディース等の公式試合)
  2. 関東協会主催・主管試合の競技運営
    - ・主催・主管試合への担当理事・競技委員の決定と派遣。
    - ・競技委員の発掘と育成
    - ・ボール系の派遣依頼
  3. 競技運営向上の為、各種マニュアル追加・修正
    - ・競技委員からの提案等により、マニュアルの改訂を行う
    - ・IRB・JRFUより、新たな通達が発せられた場合、確実に競技運営に反映させる。
  4. 全員参加で確実な競技運営  
担当職務のローテーションをはかり、競技委員個々人の職務範囲を広げる。
  5. 競技委員会の体制  
全体 = 競技運営担当委員、コアチーム = 競技運営推進チーム、危機管理推進チーム
20. 総務法務委員会
1. 関東協会規約その他諸規程の整備
  2. 租税公課に対する対応
  3. 労務管理
  4. 法令順守(コンプライアンス)
  5. 日本協会との組織統合への対応
  6. その他

## 関西ラグビーフットボール協会

### 各種大会

1. 関西セブンズ 2013(4/6・7 鶴見緑地 他)

2. 第7回 関西まつり (4/28 花園ラグビー場)
3. 第4回 関西・一宮セブンズ (5/11・12 一宮)

#### 4. 普及育成委員会

- 第34回 関西中学生大会  
(7/26～7/28 岐阜県数河高原)
- 第15回 関西中学生ジャンボリー大会  
(7/26～7/28 岐阜県数河高原)
- 第1回 関西女子中学生大会  
(7/27～7/28 岐阜県数河高原)
- 第6回 関西ミニ・ジャンボリー大会  
(6/29・30 淡路佐野運動公園)
- 第3回 中四国ジュニア・ラグビー大会  
(日程・場所未定)
- 第15回 近畿スクールジュニア交流大会  
(11月 未定)
- 第19回 全国ジュニアラグビー近畿ブロック予選  
(11月 未定)
- 第5回 関西スクールジュニアラグビー新人交流大会  
(3月23・24日 ボールパーク淡路)
- 関西タグフェスティバル  
(日程・場所未定)
- ラグビーマガジン Cup 関西ミニラグビー大会 2013  
(10月 未定)
- サントリーカップ全国タグブロック予選 (地区別日程)

#### 5. 社会人委員会

- トップウェストリーグ戦 (9月～12月 花園・瑞穂他)
- トップチャレンジシリーズ (1月 花園ラグビー場)
- トップウェストリーグ 入替戦 (12月 JR西日本)
- トップウェストチャレンジマッチ (12月 JR西日本)

#### 6. クラブ委員会

- 第25回 関西クラブ大会 (9月 岡山県美作市)
- 第6回 関西クラブトーナメント大会  
(10～11月 近畿・東海・中国)
- 第9回 関西クラブ セブン・ア・サイド選手権大会  
(日程・場所未定)
- 第4回 関西トップクラブリーグ  
(10月～11月 愛知・大阪・兵庫)
- 第4回 関西トップクラブリーグ入替戦  
(日程・場所 未定)
- 近畿クラブリーグ  
(10月～2月 近畿2府4県)

#### 7. 大学委員会

- 関西大学リーグ (9～12月 花園ラグビー場他)
- 関西大学リーグ入替戦 (12月 場所未定)
- 第55回 関西医歯薬大学大会 (4～5月 鶴見緑地)

#### 8. 高校委員会

- 第11回 関西高校少人数校ラグビー交流大会  
(6月 大阪体育大学)

## 9.女子委員会

- 第16回 関西交流大会  
(9月～12月 場所未定)
- 関西女子交流大会  
(9月 場所未定)

## 各委員会関係

### 1. 医務委員会

- ① 総会 (2月頃 場所未定)
- ② 総務部会 (7・11月 場所未定)
- ③ マッチドクター養成セミナー (6月頃 場所未定)
- ④ リーグ医師派遣部会 (6月 場所未定)

### 2. レフリー委員会

- ① 総務委員会 (8回 関西協会)
- ② 委員長会議 (6・11月 場所未定)
- ③ 主要試合レフリー会議 (8・3月 場所未定)
- ④ レフリーコーチ会議 (8・3月 場所未定)
- ⑤ シーズン総括会議 (3月 場所未定)
- ⑥ B級認定講習会 (4～6月 各地区)
- ⑦ Bトップ研修会 (5月 天理)
- ⑧ レフリーコーチ講習会 (5月 大阪)
- ⑨ ブラッシュアップ研修会 (8月 神鍋・数河)
- ⑩ 三地域トップレフリー研修会 (8月 菅平)

### 3. 強化・セレクション委員会

- ① 委員会 (12・1・2月 関西協会他)
- ② 関西代表セレクション会議 (2月 関西協会)
- ③ 各種試合視察(8月～2月 花園ラグビー場他)

### 4. コーチ委員会

- ① 総務部会 (6・1月 関西協会)
- ② トップチームコーチ会議 (7月・場所未定)
- ③ コーチ委員長会議 (2月・場所未定)
- ④ 育成コーチ養成講習会 (日程、場所未定)
- ⑤ 強化コーチ養成派遣 (7月 場所未定)

### 5. 普及育成委員会

- ① 運営委員会 (4回 関西協会)
- ② タグ部門会議 (5回 関西協会他)
- ③ ミニ部門会議 (4回 関西協会)
- ④ ジュニア委員会 (4回 関西協会)
- ⑤ ミニ・ラグビー指導者講習会 (3月 場所未定)
- ⑥ 関西ジュニアブロック長会議 (4月 関西協会)
- ⑦ 関西中学生大会実行委員会 (3・9月 関西協会)
- ⑧ 関西中学生大会運営委員会 (日程未定 関西協会)
- ⑨ 全国ジュニア実行委員会 (5・1月 関西協会他)
- ⑩ 全国ジュニア運営委員会 (日程未定 関西協会)
- ⑪ 四国ラグビースクール夏季研修会 (8月 場所未定)
- ⑫ 近畿ブロック指導者研修会 (下期 場所未定)
- ⑬ 東海・北陸ブロック指導者研修会 (下期 場所未定)

## 6. 安全対策委員会

- ① 総務委員会 (年2回 関西協会)
- ② 委員長会議 (2月 場所未定)
- ③ 常任委員部会 (1月 関西協会)

## 7. 社会人委員会

- ① 総会 (6月22日 ホテルクライトン江坂)
- ② 委員会 (日程未定 関西協会事務所他)

## 8. クラブ委員会

- ① 委員会 (8回 関西協会 他)
- ② 関西クラブ大会実行委員会 (未定 関西協会)
- ③ クラブ委員長会議 (9月 岡山県美作市)
- ④ クラブカンファレンス(9月 岡山県美作市)

## 9. 大学委員会

- ① 総会 (7月 場所未定)
- ② 委員会 (日程未定 関西協会)

## 10. 高専委員会

- ① 全国高専大会実行委員会 (10・12月 神戸高専他)
- ② 代表者会議 (1/3 グリーンヒルホテル神戸)

## 11. 高校委員会

- ① 委員会 (4・12月 場所未定)

## 12. 主要試合スケジュール並びに放送調整会議

3・6月 関西協会

## 13. 広報委員会

- ① 委員会 (7月下旬 ・3月上旬関西協会)
- ② 関西協会シーズン開幕記者懇談会  
(8月下旬 場所未定)

## 14. ツアー委員会

- ① 委員会 (3月上旬 関西協会)
- ② 国際試合帯同 (日程、場所未定)

## 15. 傷害見舞金審査委員会

(8月除く毎月第2木曜日 関西協会)

## 16. 女子委員会

各部門セレクション(4月未定)  
各部門会議(日程・場所未定)

## **九州ラグビーフットボール協会**

### 1. レフリー委員会

・各県委員長会議:

6月長崎 ・12月福岡 ・H26.2月大分

・レフリー研修会・認定講習会

九州地区トップレフリー研修会(8月・湯布院)

九州地区B級レフリー研修会及び認定講習会(8月・未定)

三地域トップレフリー研修会(8月・菅平)

- ・有望レフリー発掘事業(5月～6月・各県)
- ・各県巡回指導研修会(H26.1月～3月・各県)
- ・コーチ・アセッサ-研修会(未定・福岡)
- ・レフリー評価委員会(H26.2月)
- ・各種主催・主管大会へレフリーの派遣・各県試合会場

## 2. 社会人委員会

- ・第51回木元杯全九州7人制大会(4月13～14日・福岡)
- ・トップキュウシュウリーグ加盟チーム代表者会議(8月・福岡)
- ・第33回九州地区国民体育大会(成年)(8月23日～24日・福岡)
- ・第42回トップキュウシュウリーグ(9月～11月・各地)
- ・トップリーグチャレンジ1・2(12月～H26.2月・未定)
- ・トップキュウシュウリーグA・B入替戦(12月15日・福岡)
- ・トップキュウシュウリーグ代表者会議(H26.2月・福岡)

## 3. クラブ委員会

- ・各県委員長会議(5月・鹿児島、11月・佐賀)
- ・九州惑大会(5月25日～26日・鹿児島)
- ・第9回九州トップクラブリーグ(9月～11月・各地)
- ・第39回全九州クラブ・実業団大会(11月16日～17日・佐賀)、決勝戦(12月1日・未定)
- ・九州トップクラブリーグ入替戦(12月15日・福岡)

## 4. 大学委員会

- ・第52回九州山口医科系大学大会(4月～5月・沖縄)
- ・九州学生春季リーグ戦(6月・福岡)
- ・九州学生リーダ講習会(5月下旬・福岡)
- ・第52回九州商経大学大会(6月8日～9日・大分)
- ・第21回九州学生リーグ(9月～11月・福岡他)
- ・九州学生リーグジュニア戦(9月～11月・福岡他)
- ・第13回九州地区対抗大学大会(Ⅲ部優勝決定戦)(11月16日～19日・鹿児島)
- ・九州学生リーグ入替戦(12月7日・福岡)
- ・各県委員長会議(7月、12月・福岡)

## 5. 高専委員会

- ・高専チームリーダ講習会(3月30日～4月1日・八代)
- ・第22回九州高専新人大会(5月11日～12日・久留米)
- ・各県委員長会議(11月8日・熊本)
- ・第50回九州高専大会(11月9日～12日・熊本)

## 6. 高校委員会

- ・九州協会会長招待 東日本高校代表 vs 九州高校代表(4月13日・福岡)
- ・サニックスワールドユース交流大会(4月28日～5月5日・福岡)
- ・九州高体連ラグビー専門部委員長会議(6月15日・長崎)
- ・第66回全九州高校大会(6月15日～18日・長崎)
- ・夏季九州高校1・2年生一次強化指導会  
U17全国高校合同チーム大会直前合宿(7月6日～8日・湯布院)
- ・第33回九州地区国民体育大会(少年)(8月23日～25日・福岡)
- ・第93回全国高校選手権大会各県予選(10月～各県)
- ・第5回九州U16・U17交流会(12月14日～15日・福岡)
- ・サニックス2014ワールドユース交流大会 予選会(H26.1月2日～5日・福岡)
- ・九州高校委員会及強化委員会(H26.2月15日・大分)
- ・第36回木元杯全九州高校新人大会(H26.2月15日～19日・大分)
- ・U17九州選抜候補合宿(H26.3月15日～17日・湯布院)
- ・第15回九州高校10人制大会(H26.3月22日～23日・鹿児島)

- ・その他強化合宿(夏・春)・指導会・各県委員長会議

## 7. コーチ委員会

- ・各県委員長会議(7月、H26.2月・福岡)
- ・九州協会トップコーチ会議兼強化コーチブラッシュアップ研修会(7月・福岡)
- ・ブラッシュアップ講習会(要請に応じて随時開催)
- ・新スタートコーチ養成講習会(要請に応じて随時開催)
- ・その他コーチ委員会として必要な事業(随時実施)

## 8. 中学生委員会

- ・各県委員長会議(4月、8月、10月・福岡他)
- ・ジュニアインストラクター会議(10月12日～14日・熊本)
- ・ジュニアラグビー指導者講習会(都度・各県)
- ・第35回新島杯九州ジュニアラグビー大会(8月2日～4日・大分鯛生)
- ・第26回新島旗九州中学校ラグビー大会(8月4日～6日・大分鯛生)
- ・第14回九州ジュニアブロック大会(10月12日～14日・熊本)
- ・第15回九州ジュニアラグビージャンボリー大会  
福岡ジャンボリー(H26.1月18日～19日)  
長崎(島原)ジャンボリー(H26.2月22日～23日)

## 9. 普及委員会

- ・会議・研修会  
普及育成担当者研修会委員会(4月・福岡)  
タグ部門長会議(兼サントリーカップ打合せ)(6月・長崎)  
タグラグビーエディケーター講習会(8月・熊本)  
九州MMR認定講習会(8月・熊本)  
各県委員長会議(H26.2月・福岡)  
ラグビースクールプロモーション講習会(H26.3月・福岡)
- ・ミニラグビー  
第40回九州少年ラグビー交歓会(8月23日～25日・阿蘇)  
第14回西九州交流大会(9月22日・長崎)  
第14回東九州交流大会(11月24日・宮崎)  
第13回南九州交流大会(12月15日・鹿児島)  
第6回沖縄県ミニラグビー交流大会(11月24日・沖縄)  
第2回トライドリームカップ(11月2日～4日・福岡)
- ・タグラグビー  
タグフェスタ  
福岡(WITHアビスパ福岡)(10月)・佐賀(5月)  
長崎(大村)(11月)・熊本(7月)・大分(10月)  
宮崎(H26.2月)・鹿児島(10月)  
沖縄(第16回スホレク・10月)・九州(10月)  
西部ガスタグフェスタ(H26.3月・福岡)  
タグラグビーティーチャー研修会  
福岡(7月)・佐賀(8月)・長崎(8月)・熊本(7月)  
大分(8月)・宮崎(8月)・鹿児島(8月)・沖縄(7月)  
第8回九州女子タグラグビー大会(11月10日・熊本)  
第10回サントリーカップ全国大会予選  
福岡(11月)・佐賀(11月)・長崎(12月)・熊本(11月)  
大分(11月)・宮崎(11月)・鹿児島(12月)  
沖縄ブロック予選大会(H26.1月11日～12日・沖縄)  
九州ブロック予選大会(H26.1月26日・佐賀)

## 10. 安全対策委員会

- ・高専リーダー講習会にて研修会(4月・熊本)

- ・安全推進講習会(4月～5月・各県)
- 安全推進講習会(九州協会主催)(5月・福岡)
- ・H26年度安全推進伝達講習会(H26.1月・福岡)
- ・九州協会スケジュール会議での研修会(H26.2月・福岡)
- ・メディカル委員会との合同総会(H26.3月・福岡)

#### 11. 強化・セレコン委員会

- ・トップキュウシュウリーグ A、九州学生リーグ視察(9～12月・各地)
- ・強化・セレコン委員会(九州代表セレ外会議)  
(H26.1月・福岡)

#### 12. 総務委員会

- ・会員名簿の作成(7月)
- ・主要スケジュール・メンバー表の作成・配布
- ・九州及び各県主催公式試合の編成・発行
- ・各新聞における関係記事のスクラップ

#### 13. 広報委員会

- ・日本協会機関誌「協会だより」への投稿(年5回)
- ・広報委員会会議(年2回・未定)
- ・トップリーグ共同記者会見の開催(8月・福岡)
- ・各メディア(新聞・TV)との意見交換会(11月・福岡)
- ・各メディアへの情報発信、情報交換(随時)
- ・福岡地区 T/L 開催試合への各県広報担当者派遣(トップリーグ開催時)

#### 14. メディカル委員会

- ・公式戦へのマッチドクター派遣 (4月～H26.3月・開催県)
- ・総務委員会(9月、H26.3月・福岡)
- ・安全対策委員会との合同総会(H26.3月・福岡)
- ・日本代表チーム帯同医師派遣への協力
- ・トップリーグ・メディカルコントロール(開催県)
- ・第3回ラグビードクターフォーラム開催(H26.2月・福岡)

#### 15. 女子委員会

- ・女子委員会(年2回)
- ・木元杯全九州7人制大会女子部門(4月14日・福岡)
- ・U15,U18,代表候補指定強化選手トライアウト(4月・福岡)
- ・第3回九州ガールズ・ラグビーフェスタ(12月・熊本)
- ・SANIX Girls Sevens Rugby Camp(H26.3月)

#### 16. 個人登録制度(傷害見舞金共済運営事業)

##### <登録>

- ・指定システムにてチームより各県協会経由5月31日まで登録・期中の追加登録は都度受付ける。
- ・登録状況を理事会に報告(理事会開催時)

##### <傷害見舞金>

- ・審査委員会は年12回開催・結果は理事会に報告(理事会開催時)
- 運営委員会は年1回以上開催

## ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会

### 1. 事業方針

本事業は、ラグビーワールドカップリミテッド(Rugby World Cup Limited)と財団法人日本ラグビーフットボール協会との間で交わされた「開催協会合意書(Host Union Agreement)」に基づき、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップ2019の準備及び運営を円滑に行い、日本・アジア並びに世界のラグビー競技の発展に寄与するとともに、国際交流を促進し、文部科学省の掲げる「スポーツ基本計画」にのっとり、この大会を通じて我が国に新たなスポーツ文化の確立を推進し、もって大会の成功を期することを目的とする。

### 2. 平成25年度の事業内容

- (1) 前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
  - ① 大会の準備及び運営に関する事業
  - ② その他、上記目的を達成するために必要な事業
  
- (2) ラグビーワールドカップ2019組織委員会運営関連業務
  - ① 理事会・評議員会開催準備および開催
  - ② 「定款」の整備
  - ③ 顧問・参与・各種委員会等の諸組織の運営
  - ④ 平成24年度事業報告、決算報告書の作成および承認
  - ⑤ 平成26年度事業計画、予算書の作成および承認
  - ⑥ その他、組織委員会で定められた業務全般
  
- (3) ラグビーワールドカップ2019組織委員会事務局関連業務  
組織委員会の活動を円滑に推進するための事務業務全般
  
- (4) ラグビーワールドカップリミテッドとの連絡調整業務
  - ① 「開催協会合意書(Host Union Agreement)」の遵守
  - ② 開催諸条件に関する交渉と合意(含むローカルスポンサー権の獲得等)
  - ③ ラグビーワールドカップリミテッド来日会議(平成25年4月および9月予定)
  - ④ ラグビーワールドカップリミテッドが主催する定例会議への出席(ホストユニオン会議等)
  
- (5) 関連部署との連絡調整業務  
\* 下記諸団体との連絡調整
  - ① 関係省庁(文部科学省、外務省、観光庁、財務省等)
  - ② 日本スポーツ振興センター(JSC)
  - ③ ラグビーワールドカップ2019日本大会成功議員連盟
  - ④ 国会ラグビークラブ
  - ⑤ 日本体育協会、日本オリンピック委員会等
  - ⑥ 日本ラグビーフットボール協会
  - ⑦ 日本サッカー協会

以上

## 25年度スケジュール

### 国内大会関係

- 第54回 YC&AC JAPAN SEVENS  
4月7日(日) 場所:横浜 YC&AC
- 第14回 全国高等学校選抜大会  
3月30日(土)~4月7日(土)  
場所:埼玉 熊谷ラグビー場
- 第2回全国高等学校選抜女子セブンズラグビー大会  
4月4日(木)~5日(金) 場所:埼玉 熊谷ラグビー場
- ジャパン・セブンズ 2013 高校の部  
4月13日(土) 場所:東京 江戸川陸上競技場
- セブンズ フェスティバル 2013 in TOKYO  
5月26日(日) 場所:秩父宮
- 第9回全国高等学校合同チーム大会  
8月1日(木)~4日(日)  
場所:長野 菅平高原サニアパーク
- 第3回全国高等学校女子7人制ラグビー大会  
8月2日(金)~5日(月)  
場所:長野 菅平高原サニアパーク
- 学生クラブ東西交流フェスティバル IN 菅平 2013  
8月30日(金)~9月1日(日)  
場所:長野 菅平高原サニアパーク
- 第4回全国中学校大会(中学校の部・スクール部)  
9月14日(土)~16日(月)  
場所:茨城 ケーズデンキスタジアム水戸等
- 第68回 国民体育大会(日本体育協会主催)  
9月29日(日)~10月3日(木)  
場所:東京都武蔵野市:武蔵野競技場(成年)  
江戸川区:江戸川陸上競技場(少年)
- ジャパンラグビートップリーグ 2013-2014  
<リーグ戦>  
ファーストステージ: 8月30日(金)~10月27日(日)  
セカンドステージ:11月30日(土)~平成26年1月19日(日)  
場所:  
北海道・東北・関東・東海・北陸・関西・中国・四国・九州  
<プレーオフトーナメント>  
・セミファイナル 平成26年2月上旬  
・ファイナル 平成26年2月上旬  
場所:東京・大阪  
<ワイルドカード>  
平成26年2月上旬 場所:未定  
<チャリティーマッチ>  
平成26年3月上旬 場所:未定
- 第26回 女子ラグビー交流大会(合同)  
11月23日(土) 場所:東京 江戸川陸上競技場
- 第50回 全国大学選手権大会  
ファーストステージ/セカンドステージ 未定  
準決勝 平成26年1月2日(木) 場所:国立競技場  
決勝 平成26年1月12日(日) 場所:国立競技場
- 第93回 全国高等学校大会  
12月27日(金)~平成26年1月7日(火)  
場所:大阪 花園ラグビー場

- 第93回 全国高等学校大会女子エキシビジョンマッチ  
12月27日(金) 場所:大阪 花園ラグビー場
- 第6回 U18 合同チーム東西対抗  
平成26年1月7日(火) 場所:大阪 花園ラグビー場
- 第21回 全国クラブ大会  
1回戦 ~準決勝 12月上旬~平成26年1月中旬  
場所:埼玉 熊谷ラグビー場・東京 秩父宮ラグビー場  
決勝 平成26年1月下旬
- 第12回東西学生クラブ交流会  
12月中旬 場所:埼玉 熊谷ラグビー場
- 第10回クラブユース交流試合  
平成26年3月中旬 場所:福岡(予定)
- 第19回 全国ジュニアラグビー大会  
12月下旬 場所:大阪 花園ラグビー場
- 第65回 全国地区対抗大学大会  
平成26年1月2日(木)、4日(土)、6日(月)  
場所:愛知 瑞穂ラグビー場
- 第44回 全国高等専門学校大会  
平成26年1月 場所:兵庫県
- 第51回 日本選手権大会(日程予定)  
1回戦 2月15日(土)or16日(日)  
2回戦 2月22日(土)or23日(日)  
準決勝 3月1日(土)  
決勝 3月9日(日)  
場所:大阪 花園ラグビー場・東京 秩父宮ラグビー場  
東京 国立競技場 予定
- 第10回 全国小学生タグラグビー選手権大会  
日程 場所未定
- 第15回ジャパンセブンズ大会(女子)  
平成26年3月16日(日)  
場所:愛知 瑞穂ラグビー場
- IRB セブンズワールドシリーズ 東京大会  
平成26年3月予定

### 国際大会・海外遠征関係

#### <高等学校関係>

- サニックス 2013 ワールドユース交流大会  
4月28日(日)~5月5日(日)  
場所:福岡 宗像市 グローバルアリーナ
- 第21回 日・韓・中 ジュニア交流競技大会  
8月 場所:中国
- 高校日本代表・海外遠征 平成26年3月中旬~  
場所:未定

#### <女子日本代表関係>

- 女子 15人制強化合宿・国際試合  
・RWC アジア地区予選(日程未定)
- 女子日本代表 7人制  
・RWC7人制 場所:ロシア 6月28日(金)~30日(日)  
・ユニバーシアード 場所:ロシア  
7月14日(日)~17日(水)  
・KL セブンズ 場所:マレーシア  
8月30日(金)~9月1日(日)

- ・アジアシリーズ第2戦 場所:未定  
9月21日(土)~22日(日)
- ・アジアセブンズ 場所:インド  
11月8日(金)~9日(土)
- ・IRBドバイセブンズ 場所:ドバイ  
11月29日(金)~12月1日(日)
- ・IRBヒューストンセブンズ 場所:アメリカ  
平成26年1月31日(金)~2月1日(土)
- ・ラスベガスセブンズ 場所:アメリカ  
平成26年2月6日(木)~7日(金)
- ・香港セブンズ 場所:中国  
平成26年3月21日(金)~22日(土)
- ・IRB広州セブンズ 場所:中国  
平成26年3月29日(土)~30日(日)

<7人制日本代表(男子)>

6. IRBワールドシリーズ ロンドン大会  
場所:イギリス 5月11日(土)~12日(日)
7. RWC7人制 場所:ロシア 6月28日(金)~30日(日)
8. ユニバーシアード 場所:ロシア  
7月14日(日)~17日(水)
9. アジアセブンズシリーズ クアラルンプール大会  
場所:マレーシア 8月31日(土)~9月1日(日)
10. アジアセブンズシリーズ 場所:未定  
9月21日(土)~22日(日)
11. アジアセブンズ シリーズ ムンバイ大会  
場所:インド 10月12日(土)~13日(日)
12. アジアセブンズシリーズ 場所:未定  
11月1日(金)~3日(日)

<U18 男女7人制日本代表関係>

13. ユースオリンピック 南京大会  
8月17日(土)~20日(火) 場所:中国

<U20 日本代表関係>

14. 強化試合  
国内合宿
  - ・4月5日(金)~8日(月) 場所:流通経済大学
  - ・4月11日(金)~22日(月) 場所:未定
 対NZU戦 4月30日(火) 場所:江戸川陸上競技場  
 ・5月7日(火)~13日(月) 場所:流通経済大学  
 対シンガポール戦 5月11日(土) 場所:流通経済大学
15. ジュニアワールドトロフィー2013 チリ大会  
大会日程:5月28日(火)~6月9日(日)  
 Pool A(4カ国) :イタリア、ポルトガル、チリ、ナミビア  
 Pool B(4カ国) :日本、トンガ、カナダ、ウルグアイ  
 5月28日(火) 対 ウルグアイ  
 6月1日(土) 対 カナダ  
 6月5日(水) 対 トンガ  
 6月9日(日) 決勝戦
16. U19 ジュニア ワールドトロフィーアジア予選  
場所:香港 日程未定

<U20 日本代表関係>

17. IRB パシフィック・ラグビーカップ 2013 場所:NZ  
4月2日(火) 対ハイランダーズ XV  
4月7日(日) 対ハリケーンズ XV
18. ジュニア・ジャパン強化合宿  
7月2日(火)~7日(日) 場所:東京  
大学生向けキャンプ  
7月15日(月)~19日(金) 場所:東京  
トップリーガー向けキャンプ

<15人制日本代表>

19. 日本代表強化合宿  
4月1日(月)~5日(金) 場所:長野 菅平  
7月15日(月)~19日(金) 場所:長野 菅平  
9月16日(月)~17日(火) 場所:未定  
10月7日(月)~8日(火) 場所:未定
20. HSBC アジア5ネーションズカップ  
合宿遠征日程 4月9日(火)~5月12日(日)  
4月20日(土) 対フィリピン戦 K.O. 14:00 場所:福岡  
4月27日(土) 対香港戦 K.O. 16:00 場所:香港  
5月4日(土) 対韓国 K.O. 14:00 場所:秩父宮  
5月10日(金) 対UAE K.O. 19:00 場所:ドバイ
21. IRB パシフィック・ネーションズカップ 2013  
合宿遠征日程 5月16日(木)~6月24日(月)  
5月25日(土) 対トンガ K.O. 14:10  
場所:横浜 ニッパツ三ツ沢スタジアム  
6月1日(土) 対 フィジー K.O. 15:40  
場所:フィジー ラウトカ  
6月19日(水) 対 カナダ K.O. 19:10  
場所:名古屋 瑞穂ラグビー場  
6月23日(日) 対 USA K.O. 14:10  
場所:東京 秩父宮ラグビー場
22. リポビタンDチャレンジ 2013  
6月8日(土) 対 ウェールズ戦 K.O.14:00  
場所:大阪 花園ラグビー場  
6月15日(土) 対 ウェールズ戦 K.O.14:00  
場所:東京 秩父宮ラグビー場
23. 欧州遠征  
10月28日(月)~11月25日(月)  
試合予定  
11月9日(土)・16日(土)・19日(火)・23日(土)